

村体育協会発足

会長に佐藤藤男氏



スキーの六部門10団体、二七 雄氏、理事長佐々木昭夫氏、
○名で構成、役員体制は、会 監事曾我広見氏、高橋憲夫氏、
長佐藤藤男氏、副会長三沢秀 夫がそれぞれ選任された。
今後の体育協会の活動を期 待するとともに新しい体育レ
タ団体の誕生を希望したい。

横越両チームで決勝戦

村上、大丸杯籠球大会

かねて村内の各種スポーツ 団体の間で村民のスポーツ活 動の振興とスポーツ団体の連 絡調整をはかりたいと村体育 協会の結成準備をすすめてき たが、このほど正式に横越村 体育協会が結成することにな り、四月二日公民館で結成大 会が開催された。

三月十日、村上高校、桜ヶ 丘高校の二会場で大丸杯籠球 大会が開催された。横越村か らA、B二チームが出場、両 チームと宇連を勝ち抜き決勝 で、昨年国体で活躍した和津 が優勝、横越勢はこの大会で 二連勝した。この大会は、主 君をはじめ、三月末全国高校 選抜籠球大会に信越代表で出 場する新津高校の本間、伊藤 謙、新発田、中条などの強豪 十三チームが参加した。横 越中出身で現在新潟県高校籠 球の一級選手を揃えたチーム であり優勝は当然のこと。一 方二位になったAチームは伊 藤キャプテンをはじめ横門ク ラブのメンバーである。



②

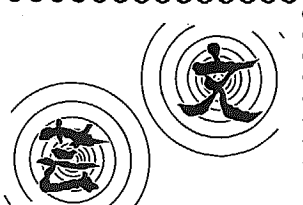
建部先生のおもい出

(横越村出身) 群馬県知事 田 坤 六

言葉があります。こゝろい うことを意味するのであります ようか。存外父が所期した狙 いも或いはこんなところにあ ったのでしょうか。 それにしても当時暗を借 んで専門の研究に打ち込んで 居られた建部先生がどういう 言葉を覚えていて絶望の日を繰 り返して見ました。

大先生の前を引き寄せられて お考えで、こうした望みの独 演会を子供一人の姿で展開し て下さったこと、いつも 長い巻紙に毛筆の連筆であり ました。

昭和九年の春、私は、愈々 昭和大の卒業、私は、愈々 官として南方閣議ルネオへ 社任することになった私は、 当然生還を期せられない覚悟 になりましたが、当時は暗海



第二回俳句作品公募

- (1)公募問題(三題通して六句)
○たけのこ
○初夏
○こいのぼり
- (2)メ切り 四月三十日 横越公民館必着
- (3)送着
- 桑野 峰松(大江山) 國兼 丹月(新潟)
- 鈴木 松樹(新津) 磯部 風角(中条)
- 坪谷 九一(横越) 今井 夫子(横越)
- 田中 郁郎(公民館長)

二本木小林 竹生
花 辛夷 瀬首身近かに人が住む
花 辛夷 岩しぼる水の山深かく
沈丁花池に浮いてる子の手まり

で、地域ぐるみの話し合い集の印象を次のように語って 会活動を行い積極的に関与した。道路が完全舗装されてい る解決に取り組んでいるところ。このたび本村を助けたのも 同地区では、県少年自然の家 文化環境に恵まれた。また、海 岸線には広大な松林があり自 然環境にも恵まれていること であるが、最近富山県の養 豚、養鶏業者が数社進出し飼 蚊の発生、悪臭に頭を悩ませ ているもので、横越下部落が 住宅と畜舎が、いっしょにな っているにもかかわらず、飼 蚊、悪臭が比較的少ないとい うことは、どのような対策が されているか、熱心な質問を していた。

乙地区の人たちは、下部落

中条乙地区生活会議——横越下部落視察 畜産公害について話し合う

中条町乙 地区生活会 議(一行四 名)は、三 月十六日本 村を訪れ、横 越下部落の 牛舎や、焼 山仔牛セン ターを視察 したあと、 公民館で横 越下部落の 役員、同協 会畜産と畜 産公害問題 について話し 合いが行わ れた。

中条町乙 地区生活会 議は、昨年 県新生活運 動協会の肝 いりで発足 されたもの



村の人口	
人口	8,062人
男	3,946人
女	4,116人
世帯	1,723世帯
出生	16人
死亡	3人
転入	15人
転出	13人
2月のうき	

コ	ワ	ア	ロ	バ
ク	セ	マ	ウ	ポ
シ	ケ	キ	オ	スト
ス	ク	ス	ウ	ン
ダ	ク	ス	ウ	ン

ひなまつり子どもクイズ 発表
ひなまつり子どもクイズに たくさんのご応募いただき、 ありがとうございます。 応募総数一四通のうち、 正解は二〇二通で、厳正抽選 の結果、次の十名の方に記念 品をお送りいたしました。

宮沢 暁、古沢 秀雄
福田美穂子、長谷部正春
石田 里子、神田 隆史
米木 友子、野口 正志
難波 尚、金川 亨

染焼教室
参加申込み期日 四月三十日まで
四月三十日まで
公民館へ
内容 灰皿、沱茶々々ん 花びんなどを創作 講師 西海政市先生ほか
学習日 五月から十一月まで 毎月一回、日曜日

書道教室
参加申込み 四月三十日まで
公民館へ
内容 ひらがな、楷書、行書 早書
講師 伊藤芳夫先生ほか
学習日 五月から三月まで毎月 一回、日曜日